世取物語十四編

仮名森生作

へ13
3690
14

中原物語十四編

上

中興物語十四編
上
京山人作
下

門へ13
號3690
卷14

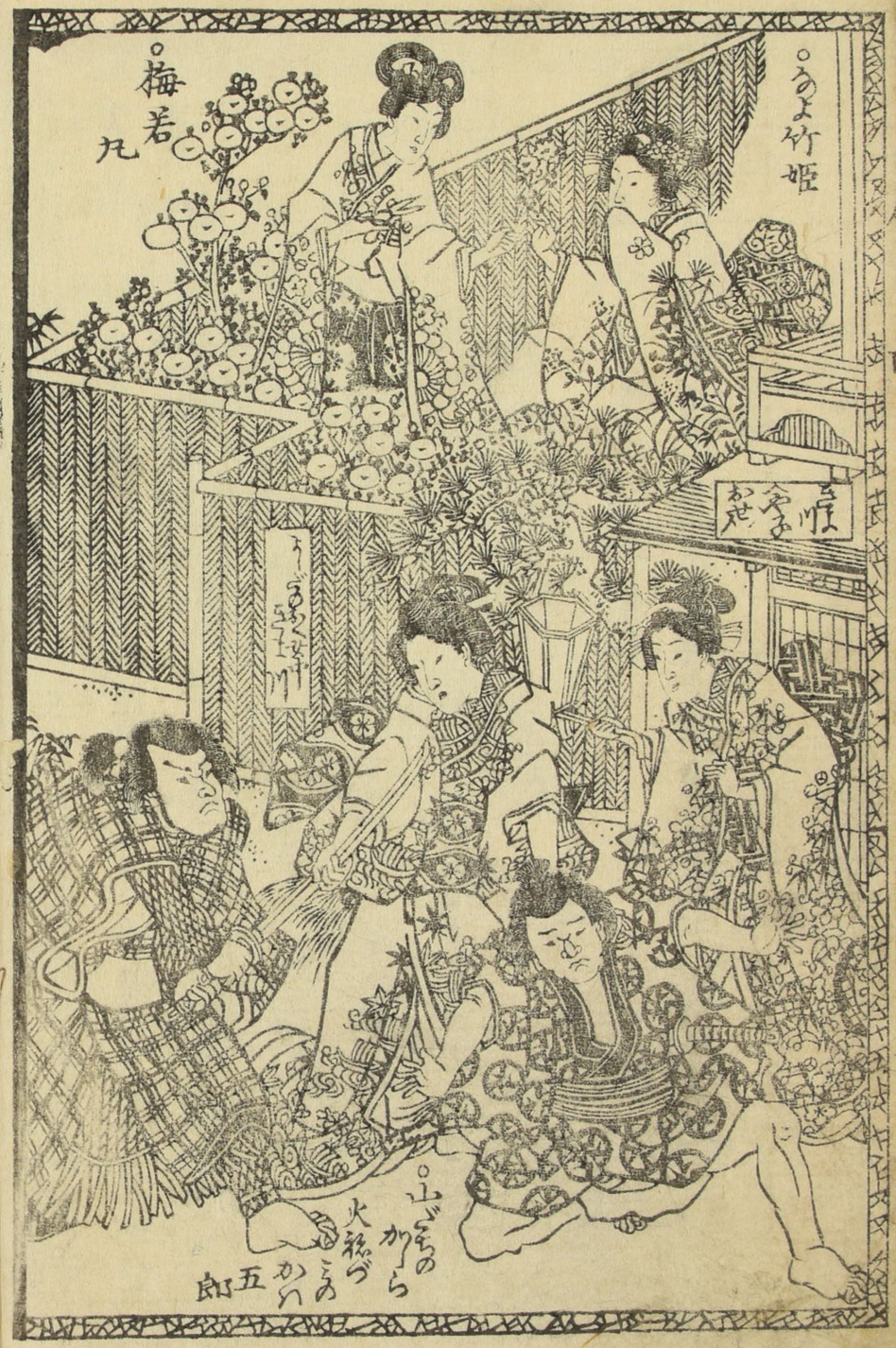
[illegible]

[illegible]

美濃の牧童が翁と伝ひ徒宗の農夫の孫とぞ入まるひ
ける街談巷説も必とるべきまりと十分扱ふもいつ
さきとび雅童の伽艸なふとて作まるも閑工夫ふやいとて
ちかつちかつふいさつ拙わるるに若かげふ咲句の梅
若が孝心端山ふ云げるるよ竹がまぐみなるまをたづのて
真遍ふさちへうまへてなん

嘉永三年庚戌仲夏　八十二歳　京山老人

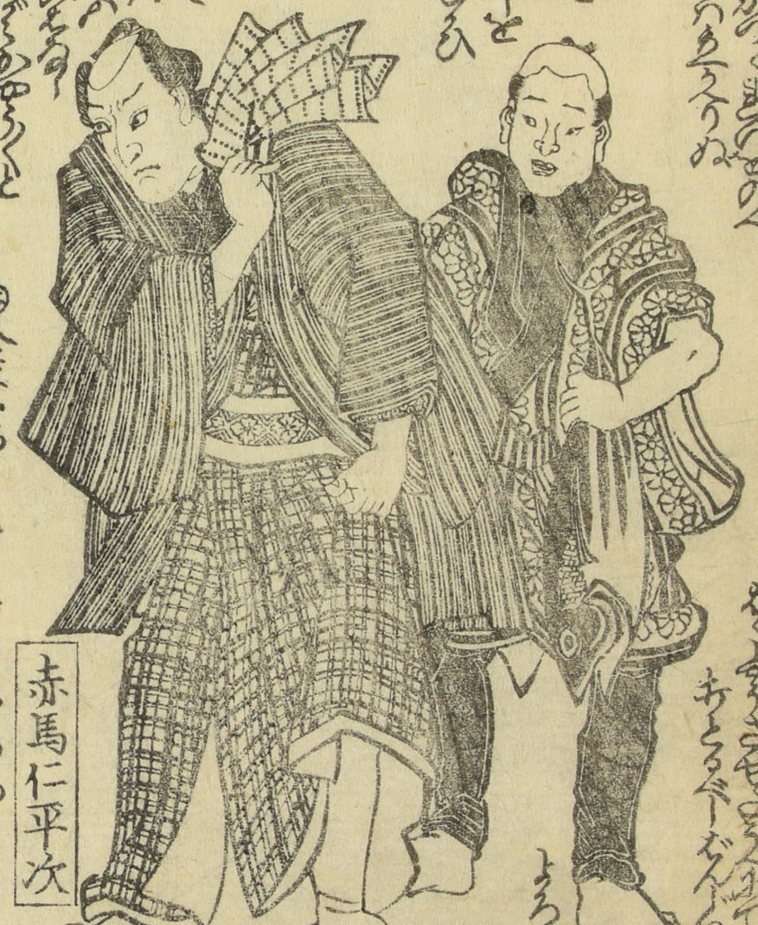
竹取物語十四編嘉永三戌夏稿本同吏春新板


梅若丸
うの子竹姫
山ごもりの
火ばち
五郎

山田の三郎
忠臣
山中熊五郎
梅若下べ
ちよの八ク
八ク
赤馬仁平次

梅若丸ぎつねの
八分
せんさくぶ
あうん

山中くま
五郎
五十両



二段

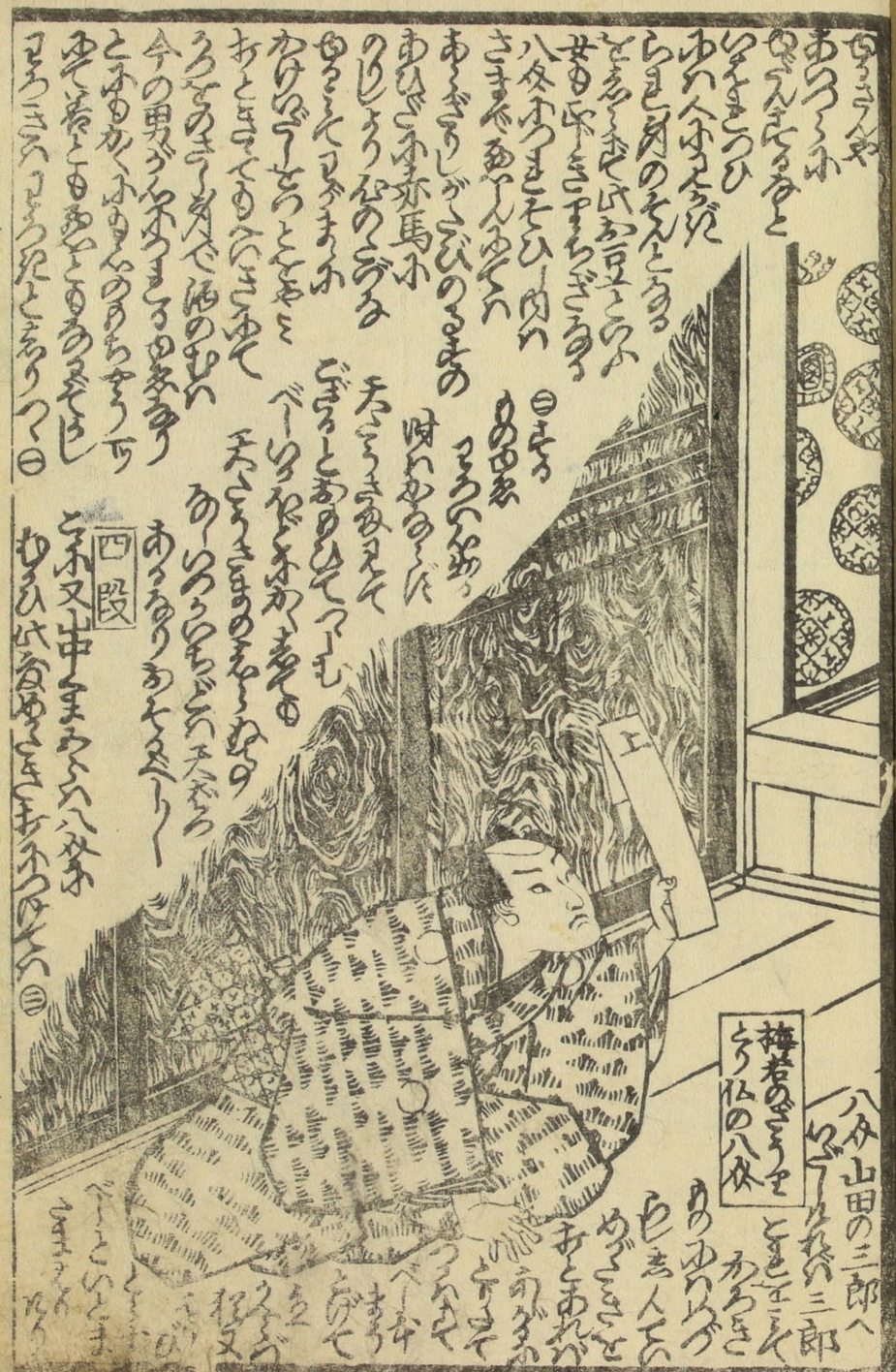
三段

赤馬仁平次

おまん

赤馬仁平次
お豆

忠臣
山田三郎


梅若のごとうを
とり仏の八女
四段

五段

㊀

㊁

㊂

山中鹿之助

▲さてあやまるぞ
吉まつの口上江戸
京もり浪ぞ二丁目
京橋ぞ

「あつとこゝろまでいつぱい
ちつてゐる

●男大じんや
女そうこゝ茶
ちやいのゆん丹
祇りやくまげ
あ八一文わ文
半ぢ二文八ト
のませ三五六十半

八仏の
八仏

おまめ

本文六段

おまめ

赤馬仁平次

山中熊五郎

梅若丸
あづまの八郎

竹取十四編上終

いろは藏水滸傳 三編 一陽齋豐國画 山人作

浮世三幅對 東の里 山人作 溪齋英泉画

同 四編

御笑樂子寶双六 宝年舍作 歌川貞秀画

同 五編

手品の種本 二編 同作 歌川国輝画

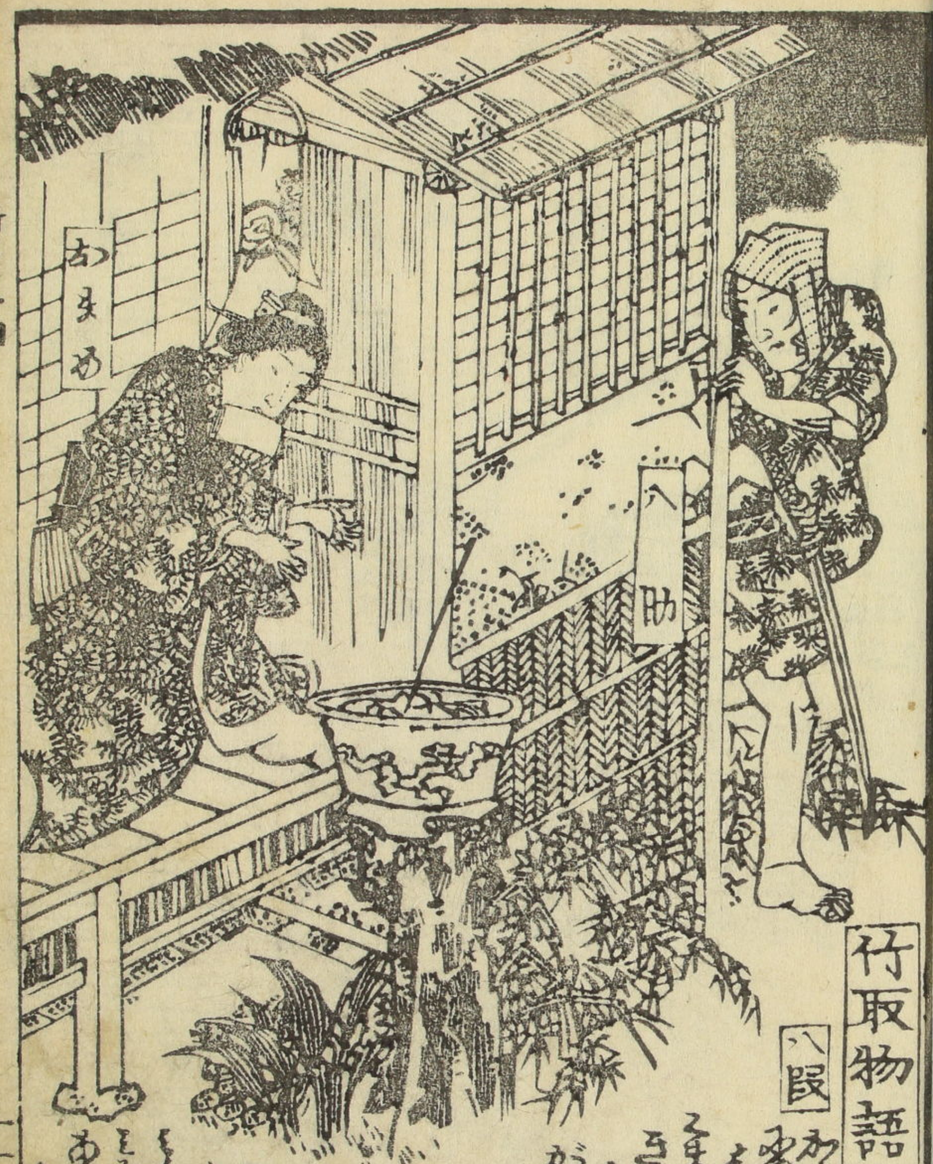
竹取物語十三編 東京山作 一陽齋豐國画

民家重寶御年玉 同作 同画

同 十四編 十五編大尾

朝顔物語 同 初編 三編 作画

地本錦繪類地紙 江戸馬喰町二丁目 森屋治郎兵衛


竹取物語十四編下巻
八段

をけの八女
おまめ

赤馬仁平次

山中熊五郎

佛の八次

九段

熊五郎

八公

山中熊五郎
川ばた

山田の三郎
さよ川

十一段

きよ川やなぎ
おせん

きよ川

おたま

きるやまや
惣太

あたま

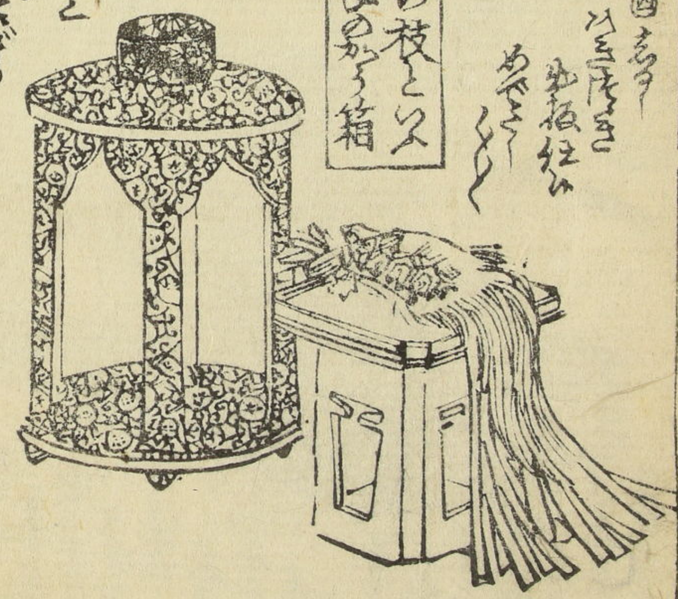
さよ川

きよ川
鍋太郎妻小安
そう太
火鉢くべ

京山老人作

歌川國輝画

竹取物語十四ぬんをより



玉の枝と入とうかう箱

蔵上宗義
白系とんど水

春服對生姿

歌川國貞画

蓬仙果園書

さてぎきりんと大爲に分けられかしこし所お方目録入ゆ空い

源平躑躅
松葉一朶

好折扇屋熊谷

作者同上
画工

冊書切物

艶衣女團七

作者同上
画工

六編前

嘉永五年正月吉日

地本問屋 馬喰町二丁目
小林屋源兵衛